ダイアン チャ ルズ ブレスリン（元カトリック教徒、アメリカ合 国）（パ ト1/3 ）

:

明:
ある 格なカトリック教徒が を んだ に信仰を失うが、その の神への 的な信仰が彼女を他の宗教の探索へと く。

目: 事新改宗者ムスリムの逸 女性

より: ダイアン チャ ?

日05 Dec 2009

集日 05 Dec 2009

どのようにムスリムになったかと ねられる 、私はいつも、自分が唯一 二の神を信仰する者になることを感じていた、と答えたものでした。そしてイスラ ムと呼ばれる宗教とクルア ンと呼ばれる本についての を いた 、初めてそれがどういう意味だったのかということに 付いたのでした。しかし、まずは私のアメリカ人としての 倒的 である、アイルランド カトリックの背景についての なあらすじから始めさせて下さい。

本当に私はカトリック教徒でした

私の父は、宣教 成 のための3年の めの 、神学校を去りました。彼は13人兄弟の 男で、その全 ともにボストン地区で生まれ育ちました。彼の二人の 妹は彼の母方の叔母がそうであったように、修道女となりました。彼の弟も神学校に在籍し、9年の ちょうど最 の誓いの前に退学しました。私の祖母は家の他の者が寝ている 、地元の教会の早朝ミサへ行くために着替えて丘を登るのため、明け方起床していました。私は彼女がその 代では非常に珍しいことに、非常に しく、 しく、公正で、そして い-女性であったことを えています。私は彼女がイスラ ムについて いたことがなかったこ

とを 信していますが、神が彼女の心に信仰があったと判断されることを祈っています。イスラ ムが唯一神を奉じる宗教であるということを いたことがない多くの人々は本能的に、先祖からの 々な宗派の 札を受け いでいたのでした。

私は4 でカトリックの保育 に在籍させられ、その の私の人生の12年 は、三位一体的教化に覆われていました。十字架は修道女たちや教室の壁、ほぼ 日出席する教会、そして私の家のほぼ全ての部屋にいたるまで、あらゆる 所にありました。言うまでもありませんが、その像や なるイメ ジ そこにはいつも赤ん坊のイエスと、彼の母マリアが描かれていました には常に白人的 英国古典主 な趣があり、 には幸せそうに、 には悲しそうに映ったものでした。そして 日が近づいて来ると、 々な 々の天使と 人の が登 しました。私は自分の寝室の 、2 廊下にある 母マリア像の花瓶に すブ ケを作るために、庭からライラックやユリの花摘みをしたことを 明に えています。そこで私は膝まずいて祈り、新 な摘みたての花の心地よい香りと、 やかな 景に、マリアの い栗色の の美しさを し、しみました。私は一度も彼女に
 しては祈ったことはなく、また彼女が私を助ける力を持っていると感じたこともなかったことを断言できます。夜ベッドでロザリオの数珠を握る も同じでした。私は、主と、 母マリアと、 唱の 式的祈りを父と子と のために り返し、その 中ずっと上を向き、本心では「唯一全能であられるお方よ、私はあなただけであることを知っています」と言っていました。それが自分で学んだ全てのことだったのです。

私の12 の 生日に、母は をくれました。我々はカトリック教徒として、バチカンにより可されたボルティモア 答以外のいかなるものも むようには 励されていませんでした。どのような相 的内省も否定され、けなされました。ですが私は、自分が期待していたことがそこに 明されていること、そして 造主について知ることを望みつつ 心に み けました。しかし私は更に混乱したのです。その本は明らかに人 の作品であり、矛盾に ちており、信ずることが しいものでした。しかし り返して言いますが、当 の私にとってはそれしかなかったのです。私の同世代の わしに漏れず、私の教会への出席は10代半ばで わりました。そして20代になる までには、私は正式な宗教を基本的に持っていませんでした。私は 教、ヒンドゥ 教について 山 んだり、地元のバプテスト教会さえ何カ月 か したりもしました。しかしそれらは私の注意を引くほどではなく、前者はエキゾ

チック ぎ、 者は田　ぎました。しかし形式上宗教を 践していない年月を通しても、私が“神との会 ”をせずに ごした日はありませんでした。特に眠る にはいつも、全ての祝福に感 の念を述べ、私に降りかかっていた全ての　への助けを求めました。私が呼びかけていたのは、唯一 二のお方でした。かれは必ず私を かれておられ、私はかれの とご加 を 信していました。これは が教えてくれたというわけでもありません。 に　な本能から生じるものでした。

この 事のウェブアドレス:

https://www.islamreligion.com/index.php/jp/articles/108

著作　2006-2015 断　を禁じます。　2006 - 2023　IslamReligion.com. 断　を禁じます。